

代表質問通告書一覧（3月8日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(4番) 山中 益敏 (公明党)</p>	<p>1 働き方改革について</p> <p>少子高齢化及び人口減少が今後ますます進む中、県内の労働力人口を確保していくことが大きな課題となるが、この課題に対応していくためには、女性や高齢者に働き手として頑張ってもらわなければならない。</p> <p>そのためにも、ワーク・ライフ・バランスの実現などに向け、働き方を改革していくことが特に重要になると考えるが、県として、どのように取り組もうとしているのか。</p> <p>2 女性の活躍促進について</p> <p>奈良県の今後の発展のためには、女性はその能力を十分に発揮し、活躍することが必要不可欠と考えるが、県では、今回策定される「奈良県女性の輝き・活躍促進計画」について、どのような方針に基づき、課題解決に取り組もうとしているのか。</p> <p>3 子どもの貧困対策について</p> <p>経済格差の解消もなかなか進まない今日、世代間連鎖を断つためにも、社会的な養護が必要とされる子どもに対する支援が重要となっているが、県として、今回の「(仮称)経済的困難な環境にある子どもを支援する奈良県計画」策定を機に、どのような取組を進めようとしているのか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
(4番) 山中 益敏 (公明党)	4 中学校既卒者の学び直しについて 昨年7月に発出された、中学校既卒者の中学校夜間学級への再入学を認める文部科学省通知を受け、県教育委員会として、中学校既卒者の学び直しの県内での実現に向け、どのように取り組んでいるのか。	教 育 長
	5 持続可能なまちづくりについて 急激な人口減少と少子高齢化が避けられない中、誰もが安心できる健康で快適な生活環境が提供できる「住んで良し」の奈良県を実現していくためには、コンパクトシティに代表されるような、持続可能なまちづくりが今後のまちづくりの根幹になると考えるが、立地適正化計画の作成を進めるなど、持続可能なまちづくりを進める市町村の取組に対し、県としてどのように支援していくのか。	知 事
	6 がん対策の推進について (1) 国の「がん対策加速化プラン」をうけて、県では今後、「第2期奈良県がん対策推進計画」に基づき、特にどのような取組を進めていくのか。 (2) できるだけ早い段階から、がんについての正しい知識を身につけることが重要と考えるが、県教育委員会では、がん教育の推進に向け、どのように取り組んでいるのか。	知 事 教 育 長
	7 奈良県立ジュニアオーケストラについて 奈良県立ジュニアオーケストラが結成され、間もなく5年になろうとする中、着実な成果が出てきているが、奈良県立ジュニアオーケストラの活動に対する知事の所見を改めて伺いたい。	知 事

一般質問通告書一覧 (3月8日)

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
 <p>(20番) 阪口 保 (創生奈良)</p>	<p>1 中央省庁の奈良県への移転と関西広域連合と連携した誘客促進について</p> <p>(1) 関西広域連合が「中央省庁の関西への移転に関する要請」を行ったように、本県も「中央省庁の奈良県への移転」を積極的に要望すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 関西広域連合が行う海外観光プロモーションや、新広域観光周遊ルート「美の伝説」への誘客促進事業に、本県として、具体的にどのように関わっていくのか。</p> <p>2 奈良大立山まつりについて</p> <p>(1) イベント開催にあたっては、十分な準備期間をとって、県民にも企画・運営に参加してもらい、ボランティアも早くから募集し、もっと幅広い行事にしていくべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 「奈良大立山まつり」の立山の製作を最初から籾内佐斗司氏に任せるという思惑があったのではないかと考えているが、知事は、委託業者の選定にあたっての透明性・公平性が確保されていると考えているのか。</p> <p>3 県職員の勤務環境の整備について</p> <p>超過勤務時間について、所属別に実退庁時間及び超過勤務手当支給時間を明らかにされたい。その上で、超過勤務時間の縮減に向けて、どのような取組をしているのか伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
(20番) 阪口 保 (創生奈良)	4 「組み体操」事故防止について 本県の組み体操による事故の状況と、今後の事故防止に向け、どのように取り組んでいくのか伺いたい。	教 育 長
 (29番) 太田 敦 (日本共産党)	1 奈良県公契約条例について 奈良県公契約条例の本来の目的は、公共サービスの質の低下を防ぎ、県民の安全安心を高め、働く人の賃金を底上げし、中小企業に仕事が回る仕組みをつくり、県経済が活性化することだと考える。そのためには、同条例において、最低賃金によらない「賃金の下限額」を設けるべきだと考えるがどうか。	知 事
2 大和川流域における総合治水に関する条例について 大和川流域における総合治水に関する条例の制定が計画されているが、その目的について、県としてどのように考えているのか。また、その目的を達成するために、どのような方策を考えているのか。	知 事	
3 (仮称)登大路バスターミナルについて (1) (仮称)登大路バスターミナルは、交通環境の向上にどのような効果があるのか。 (2) 名勝奈良公園のエリア内において、景観を壊すおそれのある大型の建物の建設は見直すべきと考えるがどうか。	知 事	

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(29番) 太田 敦 (日本共産党)</p>	<p>4 ごみの減量化に向けた取組について</p> <p>県内の市町村では、住民の協力のもと、ごみの減量化に取り組む努力をしている。県はこの取組を応援し、徹底したごみの減量化を進めるべきだと考えるが、その方策について伺いたい。</p> <p>5 大和高田市とのまちづくりに関する連携協定について</p> <p>大和高田市とのまちづくりに関する連携協定について、地域住民がまちづくりに対して高い関心を持ち、積極的に参加できるように、住民との合意を形成しながら進めていくべきだと考えるがどうか。</p>	<p>景観・環境 局 長</p> <p>まちづくり推進 局 長</p>
 <p>(5番) 川口 延良 (自民党絆)</p>	<p>1 退職自衛官の採用促進について</p> <p>退職自衛官の知識や経験を地方自治体の防災対策に活かすため、県内の市町村においても退職自衛官の採用を促進すべきと考える。県としてこれを支援してはどうかと考えるが、知事の所見を伺いたい。</p> <p>2 大和野菜について</p> <p>(1) 大和野菜に一定の基準を設け、その基準を満たしたものを「極・大和野菜」として認定するなど、ブランドの強化を図る必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 大和野菜の生産を拡大するためには、県として農業者の経営安定に向けた意欲的な取組が必要と考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(5番) 川口 延良 (自民党絆)</p>	<p>3 子ども・子育て支援新制度について</p> <p>(1) 子ども・子育て支援新制度が本格施行され1年が経過しようとしているが、認定こども園の推進に関して、現在の取組状況及び今後の推進方策について伺いたい。</p> <p>(2) 保育の質を確保するため、保育士の定着支援にさらに力を入れるべきと考えるが、県としてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>4 県立学校施設の耐震化について</p> <p>県立学校施設において、構造体の耐震化を進めるとともに、天井や照明器具等、非構造部材についても耐震化を進めるべきと考えるが、現在の状況と今後の取組について伺いたい。</p> <p>5 (仮称) 奈良県国際芸術家村の整備について</p>	<p>こども・女性 局 長</p> <p>教 育 長</p> <p>【 要 望 】</p>